

CASBEE[®]-不動産【集合住宅】評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-不動産【集合住宅】(2021年SDGs対応) v1.1

建物概要						
建物名称	S-FORT船橋塚田	敷地面積	6,088	m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	千葉県船橋市	建築面積	888	m ²	評価の実施日	2023年4月10日
用途地域	第一種住居地域、防火22条指定	延床面積	6,240	m ²	作成者	福士 明子
建物用途	集合住宅	階数	地上10F		不動産評価員番号	ふ-001189-27
竣工年月	2008年3月4日	構造	RC造		確認日	2023年5月15日
直近の大規模改修実施年月		平均居住人員	234	人	確認者	福士 明子
		年間使用時間	8,760	時間/年	不動産評価員番号	ふ-001189-27

評価結果

72.0

/100

合計

★★★★★

S ランク:★★★★★

≧

78

A ランク:★★★★

≧

66

B+ランク:★★★

≧

60

B ランク:★★

≧

50

ポイントは小数点第1位までの表示とする

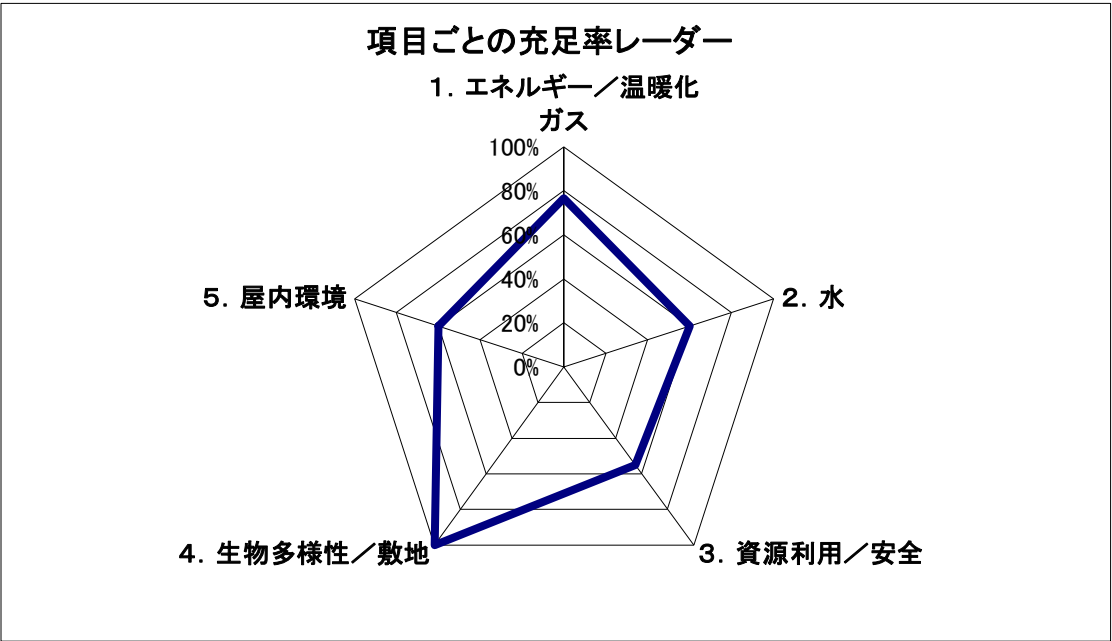
1. エネルギー／温暖化ガス					
評価	最大加点	必須項目	指標	(*)は参考値	評価値
適合		省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制	一次エネルギー(目標値)		362 MJ/m ² ・年
	加点 1	実績値より省エネ基準への適合、年間実績を把握、ベンチマーク比較実施、次年度省エネ目標設定			
15.0	20	1.1 使用・排出原単位(計算値)	一次エネルギー(計画値)		365.4 MJ/m ² ・年
		実績値より	二次エネルギー(*)		37.4 kWh/m ² ・年
			CO2排出量(*)		17.9 kg-CO ₂ /m ² ・年
4.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)	一次エネルギー(実績値)		365.4 MJ/m ² ・年
		エネルギー消費量実績値一覧参照	二次エネルギー(*)		37.4 kWh/m ² ・年
		二次エネルギー＝一次エネルギー/9.76	CO2排出量(*)		17.9 kg-CO ₂ /m ² ・年
		CO2排出量を算出する係数は0.477kg-CO2/kWh(電気)			
1.0	5	1.3 省エネルギー(仕様評価)	導入された対策項目数		1.0 項目
		エネルギー消費量実績値一覧参照			
3.0	5	1.4 自然エネルギー	利用率		%
		導入していない			
23.0	30	合計			

2. 水					
評価	最大加点	必須項目	指標		評価値
適合		目標設定、モニタリング、運用管理体制	水使用量(目標値)		25.8 L/m ² ・年
	0	水消費実績を把握、次年度省エネ目標設定			
1.0	5	2.1 水使用量(計算値)	水使用量(計画値)		L/m ² ・年
		評価しない			
5.0	5	2.2 水使用量(仕様評価)	水使用量(実績値)		26.1 L/m ² ・年
		特になし			
5.0	5	2.3 水使用量(実績値)			
		水使用量実績値一覧参照			
6.0	10	合計			

3. 資源利用／安全					
評価	最大加点	必須項目	指標		評価値
適合		新耐震基準への適合またはIs値、If値	なし		
3.0	5	3.1 高耐震・免震等	3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価		
3.0		3.1.1 耐震性			
		建築基準法に定められた耐震性を有する			
3.0		3.1.2 免震・制震・制振性能			
		導入していない			
2.5	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理負荷抑制	3.2.1と3.2.2の平均で評価する		
		3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する		
3.0		① 躯体材料			
1.0		② 非構造材料			
3.0		3.2.2 廃棄物処理負荷抑制	リサイクル材品目数(非構造材)		品目
		1)、3)、6)	取組数		3 ポイント
3.0	5	3.3 躯体材料の耐用年数	経過年数＋今後の想定耐用年数		年
		建築基準法に定める対策が講じられている			
2.5	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理	4.1,3.4.2,3.4.3の平均		
4.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔	更新年数の平均値		17 年
		計算式参照	自給率向上の取組数		項目
1.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上			
		特になし			
4.0		3.4.3 維持管理	維持管理に関する取組数		10 ポイント
		1)、2)、4)、5)、6)			
1.0		3.4.4 バリアフリー対策			
11.0	20	合計			

4. 生物多様性／敷地					
評価	最大加点	必須項目	指標		評価値
適合		特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない	なし		
		特定・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用していない			
10.0	10	4.1 生物多様性の向上	②取組表による場合のポイント		3 ポイント
		4.2対象外の時は点数を倍			
0.0	0	4.2 土壤環境品質・ブラウンフィールド再生			
		対策不要は対象外			
5.0	5	4.3 公共交通機関の接近性			
5.0		4.3.1 公共交通機関の接近性	鉄道駅またはバス停からの距離		7 分圏内
		塚田駅 徒歩7分			
		4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮			
5.0	5	4.4 自然災害リスク対策	リスクの合計数		1 種類
		該当リスクは1種のみで、有効な防災対策を実施している			
20.0	20	合計			

5. 屋内環境					
評価	最大加点	必須項目	指標		評価値
適合		建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合	なし		
		質問票への適合			
1.0	3	5.1 自然利用			
1.0		5.1.1 昼光利用	5.1.1の点数×2/3＋5.1.2の点数×1/3		
		5.1.1.1 自然採光	開口率		%
1.0		5.1.1.2 昼光利用設備	昼光利用設備		種類
		レベル2を満たさない			
1.0	3	5.1.2 通風・排熱			
		LDIに自然換気開口がある			
2.0	3	5.1.3 眺望・ゆとり	天井高		2.4 m以上
		天井高2.4m以上、かつ居住者が十分な屋外の情報を得られる窓の設置			
1.0	2	5.2 健康・快適			
		5.2.1 暑さ・寒さ			
2.0	2	5.2.2 主要な居室の冷房・暖房			
		レベル2を満たさない			
2.0	2	5.2.3 化学汚染物質対策・適切な換気			
		LDIに冷暖房装置を実装している			
1.0	2	5.2.4 騒音・遮音			
		化学汚染物質を抑える建材を使用している			
2.0	3	5.3 防犯対策			
		レベル2を満たさない			
		エントランスにセキュリティシステム、かつITV設備の設置			
12.0	20	合計			



環境性能の特徴

- ・エネルギーの計算値/実績値、水使用の実績値が高得点であり省エネルギー性能が高い。
- ・新耐震基準を満たしている。
- ・敷地内の生物多様性向上に取り組んでいる。
- ・徒歩7分圏内に交通公共機関(鉄道駅)があり利便性が高い。
- ・自然災害リスクへの対策が講じられている。
- ・維持管理が適切に行われており、屋内環境も良好である。

評価機関、評価員記名欄
認証機関記名欄

S-FORT船橋塚田